

現場の従業員から始める食品安全

2020年2月12日水曜日



おそらく、ヘルマン・エビングハウスについて聞いたことがないでしょう。彼は19世紀のドイツの心理学者で、「忘却曲線」と呼ばれるものを開発しました。これは、情報が保持されない時、時間の経過とともにどのように失われていくかを示すものです。

それでは、エビングハウス博士の仕事はどのように食品の安全性と結びついているのでしょうか？彼の仕事は、あなたが想像するよりも応用できます。すべての食品事業は現場の従業員が重要な食品安全知識を確実に受け取れるようにする必要があります。さらに重要なことは、日常業務でその情報を保持および適用するために従業員を必要とすることです。

しかし、今日現場の従業員が訓練される方法は、食品の安全性を向上させるのにどれだけ効果があるかを制限する知識を、人々が実際に学び、記憶して適用する方法とは相反します。長時間のトレーニングセッションのために座っている従業員が、教えたすべてを忘れるだろうと確信できる最良の方法であることを発見しました。なぜなら、彼らに大量の情報を提示することは、一貫した行動の変化を促す最良の方法を考慮しているわけではないからです。

これは重大な問題です。特に、食品の安全性と同じくらい重要なことに関しては、適切な食品の取り扱いなどの日常的な行動がすべての違いを生む可能性があります。疾病対策予防センターによると、食中毒の最もよく見られる要因は、しばしば個人の不衛生や調理不足などの行動の問題です。行動をうまく変えるには、従来のトレーニング方法を超えて、より機敏でジャストインタイムのアプローチを検討します。

人間行動理論に基づくトレーニング

Lobster Ink は、エンドツーエンドのオンライン顧客トレーニングソリューションの大手プロバイダーです。顧客との取り組みを通じて、エコラボは人間の行動理論の重要な原則を食品安全トレーニングの極めて重要な世界に適用しています。

私たちは、現場で働く従業員が実際に使用できる技術と情報を活用できるよう、業務に焦点を合わせたトレーニングを開発しています。このアプローチは、70-20-10 ルールと呼ばれるものによって通知されます。吸収する学習の 10%は、正式な教室タイプの設定で行われます。20%は、ソーシャルな会話と交流を通して得られます。そして、残りの 70%の学習は、努力の大部分を集中する現場で適用されます。

私たちは現場の従業員が重要な食品安全の知識を習得するのを支援するだけでなく、彼らがすぐに知識を適用する機会があることを確認し、学んだことの保持を強化させています。最初の 1 週間以内に学習に適用されない限り、人間は新しく取得した情報の約 75%を忘れることがわかっているため、このプラクティスは重要です。

実際には、これは、トレーニングから適用までの間の時間を短縮することを意味します。たとえば、従業員に食品安全トレーニングを実施する場合、従業員が新しい知識を実践できるように、数日以内に働くよう予定されていることを確認してください。さらに、保持率を最大にするには、実践的なリマインダーチェックリストおよびプロセスとシステムを復習するオンラインポータルで実践的なレッスンをフォローすることが重要であることがわかりました。

この分野には多くの機会があり、グローバル・フード・セーフティ・イニシアチブ (GFSI) などの組織は、これらの取り組みを前進させるために、企業や業界全体で情報とベストプラクティスを共有するのを助けます。人間の行動を念頭に置いて設計されたトレーニングを使用すると、より安全な食品をすべての人に提供しながら、ビジネスをより成功させることができます。



この投稿は次の人によって執筆、寄稿されました。

エコラボ

インスティテューショナル食品衛生 & 公衆衛生担当取締役副社長

ボブ・シャーウッド